

1 本取組の概要

コロナ禍に日本各地で強制進行したリモートライフの流れは不可逆的であり、コロナ後の私たちの生活はコロナ前の流れとは異なる進化をされていると言われています。商店街の買い物はECで、回覧板はオンラインで、官庁職員から会社員まで多くの方の在宅勤務実現など、密を避けた安全な暮らしをしつつ、創造性あふれる社会に進化していくことは、コロナ禍を乗り越えつつある私たちの多くが望むことです。

私たち・ワイヤレスゲートは通信を活用した社会課題解決と創造性あふれる社会の実現に関心があります。サービスの裏側で通信を行いながらAIやIoTなどのテクノロジーを活用し、質を上げられる公共サービスにどのようなものがあるのか、地方自治体の皆様と一緒に地に足の着いた、具体的なディスカッション（アイデアソン）を重ね、実証実験の企画・設計を行いたいと考えています。今回の募集は、共創で実証実験を企画・設計する自治体を求めるものです。アイデアソンに参加頂けることが条件になりますが、職員の方はもちろん、首長自らご参加頂くのも大歓迎です。私たちも、代表取締役社長 CEO の濱が積極的に参加し、皆様とディスカッションさせて頂きたいと考えております。

1.1 応募内容

・自治体が提供する公共サービス、あるいは地元住民が提供するサービスについて「本来あるべき理想の姿」と「現状」のギャップ（課題）について、具体事例を紹介してください。なお、通信との関連については現段階では問いませんが、ギャップ解消に通信が活用できそうな場合にはその旨も明記してください。

例 1

理想：防災情報などを適切なタイミングで全ての市民に届けたい

課題：防災情報など防災無線だと届かない住民がいる

例 2

理想：ストレスなくテレワークできるようにしたい

課題：官庁職員は LGWAN 環境で出勤必須

例 3

理想：保育園の幼児の様子や着替えストックをリモートでも状況を把握できるようにしたい

課題：保育園の幼児の様子や着替えストックは都度電話確認しなければならない

例 4

理想：ボタン1つで高齢者宅にお米や醤油が届くようにしたい

課題：移動もしにくく、買い物に不自由をしている

・選定後のアイデアソン（オンラインで実施）に参加する職員について所属部署、所管している業務内容を明らかにしてください。1自治体から複数人応募も可能です。

1.2 寄付金額

総額 300万円（1自治体あたり上限100万円）

1.3 選定基準

- ・社会的意義の大きさ/将来的な広がり
- ・週次のアイデアソンに必ず参加できる自治体（6月より3ヶ月）
* 首長自らのご参加も大歓迎です
- ・アイデアソンから生まれる企画案の実証実験が可能な自治体
* 実証実験の実施に必要な予算はワイヤレスゲートが負担します

1.4 スケジュール

2021年3月26日	募集開始
2021年4月28日	エントリーシート提出締切
2021年5月上旬	オンラインインタビュー（必要に応じて）
2021年5月中旬	寄付先決定&発表
2021年5月下旬	寄付実施
2021年6月	アイデアソン開始（同年8月まで）

2 応募方法

期限：2021年4月28日（水）17時まで

応募をご検討いただける場合、照会先にご連絡をください。エントリーシートの雛形をお送りします。その後、上記期限までに必要事項記入のうえ、メールにてエントリーシートの提出をお願いします。

【照会先・提出先】

逆公募プロポーザル事務局 株式会社 Public dots & Company

メールアドレス info@publicdots.com

3 その他留意事項

・ご提出頂いた情報は、寄付先の設定および今後のサービス開発・提供などを目的として、株式会社ワイレスゲートおよび株式会社 Public dots & Company、株式会社スカラの各関係者の間で共有させていただきます。

・応募締め切り後、提出頂いたエントリーシートについて株式会社ワイレスゲートもしくは株式会社 Public dots & Company より個別に問い合わせさせて頂く可能性があります。